

＜日本史探究⑨＞ 弥生時代③ 教科書：P.15～P.17

⑤ 金属器の使用

① 弥生時代になると、日本に(1.)・(2.)・(3.)がほぼ同時にもたらされた。2は(4.)として用いられ、3は(5.)や(6.)・(7.)など実用的な道具に用いられた。

(1) 弥生時代に伝來した銅と錫の合金は？ ()
(2) (1)とほぼ同時期に伝わった金属器は？ ()

② 弥生時代の祭祀には、九州北部では(8.)、畿内では(9.)、瀬戸内海では(10.)（←(11.)は九州北部）が主に用いられた。国内で生産されるようになると、次第に(12.)化された。

(1) 青銅器のうち、次の地方で分布されたのは何か？
九州北部：() 瀬戸内海：() 畿内：()

③ (13.)県の(14.)遺跡から大量の銅劍と銅矛・銅鐸発見！
その後、同じく(13.)県の(15.)遺跡からも39コもの銅鐸発見！

(1) 1984～85年に358本の銅劍と銅矛16本・銅鐸6個が出土した島根県の遺跡は？ () 遺跡

⑥ 弥生人の住居・集落

① 住居 → (16.)と平地式建物（←地面を床として周りに土を盛った住居）
生活関連 → (17.)技術も伝わり、糸を紡ぐ(18.)も見られた。

② 農耕社会が成立したことで、土地や水、余った生産物をめぐって戦争が起り始めた、→敵の攻撃からの防御のために、周囲に濠[深い溝]をめぐらせた集落である(19.)集落や山や丘の上に宮された(20.)集落がつくられた！

(1) 弥生時代に宮された濠で周りを囲んだ集落は？ () 集落
(2) 弥生中期～後期、小高い山・丘の上に宮された軍事・防衛的な集落は？ () 集落

③ (21.)県 (22.)遺跡や(23.)県 (24.)遺跡は
代表的な19集落！ 20集落の代表的なものは(25.)県 (26.)遺跡！